

「SM9*** (9000番台)」エラーが発生する。

SM9000番台のエラーは マクロエラーです。

加エプログラムの中で、エラーを作成しているため、加エプログラム作成者に確認が必要です。

第11章 アラーム

NO.	停止 レベル	解除 レベル	アラームメッセージ	発生原因	復旧方法
SM9000	3	2	マクロエラー	マクロ(システム変数)のアラーム表示機能によるアラームです。 (アラーム番号、アラームメッセージをプログラムに記述し表示する機能です)	プログラムを確認してください。
SM9300	1	1		マクロ(システム変数)のアラーム表示機能によるアラームです。 (アラームメッセージをプログラムに記述し表示する機能です)	プログラムを確認してください。

操作説明書 11章 アラームより

6.2.6.4 アラーム表示

#3000=n (ALARM MESSAGE)

アラーム番号 9000+n (n:0~200)を発生させカッコ内のアラームメッセージ(最大先頭から20文字、解除レベル2)を表示します。

カッコ内は半角英数字のみでアラーム履歴に登録されます。

(使用例) #3000=6 (ABCD);

のブロックを実行すると、<<9006 *ABCD>>のアラームが発生します。

(注1) 径補正中に指令すると、それ以前の軸移動で移動方向に垂直にオフセットベクトルを立てたところへ移動します。

(注2) 半角英数字以外を記述した場合は、動作を保障しません。

6.2.6.5 メッセージ表示&停止

#3006= (MESSAGE)

前ブロックの実行停止後、カッコ内の20文字以下のメッセージを表示します。

メッセージが21文字以上の時は先頭から20文字を表示します。

アラーム番号は9300の固定になります。

(停止レベル1、リセットレベル1)

(注意) 径補正中に指令すると、それ以前の軸移動で移動方向に垂直にオフセットベクトルを立てたところへ移動します。

プログラミング説明書 6章 マクロより

補足 SM9000番台の対処方法例

このエラーは加エプログラムの作成者がプログラム内でエラーを作成しています。
このため、詳細はプログラム作成者に確認する必要があります。

発生したアラーム番号を確認します。

例) SM9120 ***エラー が発生した場合
プログラム上で #3120=(***エラー) の行を検索します。

この行の上位で、この行にジャンプする条件文を探します。例えば

